

謹賀新年



新年明けましておめでとうございます。

旧年中はご愛顧、ご鞭撻賜りまして誠に有難うございます。改めまして厚く御礼申し上げます。

さて、弊社は、一昨年10月に上市致しました米国インプラントダイレクト社 (Kavo Kerrグループ) 製の Legacy 1 インプラントに引き続き、昨年の7月には Legacy 2 及び Legacy 3 インプラントを新発売いたしました。これにより、私共が以前取扱ってまいりました、米国 Zimmer Dental 社製 Tapered Screw-Vent インプラントに対応するラインナップが揃うこととなりました。

お陰様で、以前ご使用いただいております先生方にも徐々に Legacy インプラントを臨床に取り入れてきていただいております。更に新規でご導入頂く先生方も月毎に増加してまいりました。

然しながら、この Legacy インプラントシリーズはインプラントダイレクト社が持つ全てのインプラントラインナップの内のまだおよそ三分の一にしかすぎません。

現在、この残り三分の二の承認を申請しており、本年度内での承認取得を目指しております。インプラントダイレクト社が持つ、これら全てのラインナップが揃いますと、世界ビック3のインプラントメーカー全てに対応した製品ラインナップが出揃うこととなります。

また、昨年5月にはインプラントダイレクト社のラスベガス研修センターにおきまして、第1回目の Legacy インプラント研修セミナーを開催いたしました。参加者は約25名で、2日間の研修とラスベガス観光を楽しんでいただき、大変ご好評をいただきました。

本年度も第2回目として、同研修センターにおきまして10月24日(月)～25日(火)の2日間での研修セミナーを実施いたします。詳しくは別途ご案内させていただきますので、奮ってご参加いただけますようお願い申し上げます。

また、本年度はCAD/CAMでのカスタムメイドアバットメントの本格的なご案内を開始いたします。これにつきましても近々にアナウンスさせていただきますので是非ご活用ください。

最後に、先生方におかれましては今年も良い年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。本年も相変わりがせず、何卒よろしくお祈り申し上げます。

代表取締役 北山 良計

KaVo Kerr
Group



The Implant Direct Joint Venture is part of the KaVo Kerr Group

歯科界のトップブランド「KaVo Kerr」グループのインプラント

革新をその手に。

Legacy™ System
レガシー システム

本年もレガシー™インプラントを
よろしくお願い申し上げます。



販売名: Legacy1 インプラント 承認番号: 22600BZ100012000
販売名: Legacy2,3 インプラント 承認番号: 22700BZ100018000

レポート

3rd Implant Direct Symposium in MALLORCA 23-25 OCTOBER 2015

A NEW PATH IN IMPLANT DENTISTRY に参加して

東京都 藤関歯科神田インプラントセンター他 藤関 雅嗣

昨年(2014年)の10月23~25日にかけて、第3回インプラントダイレクト インターナショナルシンポジウムが、風光明媚なスペイン、マヨルカ島にて行われました。Dr. Maurice Salama, Dr. Philippe Khayat, Dr. Joan Pi Urgell, Dr. Joseph Choukroun, Dr. Achim Schmidt 等の著名なスピーカーをはじめ、アメリカ、フランス、ドイツ、ポルトガル、イタリア、イギリス、トルコ、スペインから13名の演者が集合して大変素晴らしい講演を行いました。さらに世界各国から600名近いデンティストが参加して大変熱気のかもったディスカッションが展開されました。各演者はLegacy Implantユーザーの枠を超えて招聘され、審美エリアの注意点や抜歯即時埋入からリッジオーグメンテーション、PRFの臨床応用、さらにCAD/CAMとインプラントの融合、そしてLegacyインプラントのガイドサージェリーなど温故知新のテクニックから最新のソリューションまで大変幅広いプレゼンテーションを聞くことができました。中でもDr. Maurice Salamaが講演で言っていた「マテリアルや技術は進歩するが、生体の反応は不変である」という言葉が印象に残り、正しい診断から適切な治療方針を導くことの大切さを再確認いたしました。またImplant Direct社の自社製品に偏らないオープンな企画から、全ては患者の為に最良の治療を行いましょうといったメッセージが感じ取れました。さらにsimplyintegratedといったコンセプトのLegacyシリーズの進化も確認でき、今後も大いに楽しみなインプラントシステムであると期待が持てました。最終日は21時まで講演が行われました。そのあと深夜まで楽しい食事と参加者による歓談が続き、情報交換の有意義な場となって、興奮冷めやらぬうちにシンポジウムは幕を閉じました。



会場前には当シンポジウムの大きな看板が掲げられていました。



講演会場のロビーにて。



世界各国からの参加者。



「A NEW PATH IN IMPLANT DENTISTRY」をテーマに著名なスピーカーによる講演が続きました。



休憩時間は、景色のよいテラスで。



スピーカー達が壇上で記念撮影。



パーティでは各国の参加者達と楽しい時間を過ごしました。

新商品紹介

発売は2月1日を予定しております。

サイナスリフトをより確実に!

K2バーティカルサイナスアプローチ

2タイプ

新タイプのインスツルメント追加!

三好敬三先生、白鳥清人先生により、確実性が高く低侵襲でシンプルなサイナスリフトテクニックとして開発された K2 バーティカルサイナスアプローチテクニックですが、この度、同テクニックの専用インスツルメントに新しいタイプ 2 本が追加となり、適応症の幅が広がりました。

追加された #4 と #5 は、既存の #2 と #3 での洞底膜剥離に追加して処置を行うオプションテクニックに使用します。

●追加剥離: 頬側/口蓋側壁の剥離/拡大→ #4

●追加剥離: ホール周囲の剥離/拡大→ #5

(特にインプラント2本埋入の際、その中間部の洞底膜を剥離する)

本テクニック(新タイプを含む)の講演会を開催いたします。同封の案内状をご参照ください。

また、開発者のお一人で、上記講演会講師でもある三好敬三先生ご執筆の臨床レポートも同封いたしましたので、合わせてご参照ください。

※詳細は別紙リーフレットをご参照ください。

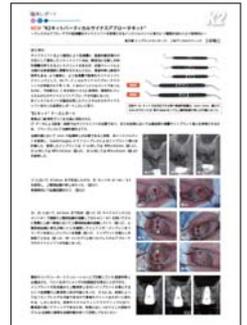


K2サイナスインスツルメント #4

K2サイナスインスツルメント #5



来る3月6日(日)開催の講演会案内状



三好敬三先生ご執筆の臨床レポート

届出番号: 13B1X00053Y00004

新商品紹介

mectron
medical technology

Piezosurgery® touch

新インサートチップ 追加のお知らせ!

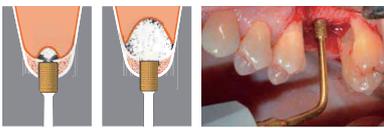
さらにさらにPiezosurgery®で「できること」が広がりました。

※詳細は別紙リーフレットをご参照ください。

【追加例】

クリスタルアプローチ用チップ OT11

水圧による剥離拳上チップ



このたび Mectron 社 Piezosurgery® 専用インサートチップに新たな製品が追加され、用途がさらに広がりました。

従来のラインナップと合わせ 約 100 種類の選択肢で、幅広い症例に対応します!



認証番号: 224ALBZX00012000

インフォメーション

発売からわずか1か月だけで**1,000本超**を販売した注目シリーズです!Dental USA
Exceptional Quality & Value

抜歯窩搔爬機能を高めた鋸歯状キュレット

POWER パワーサージカルキュレット

詳細はこちら ▼



インプラタックス パワーサージカルキュレット

検索

ユニークな抜歯関連ツールを展開するDental USA社の、抜歯窩搔爬機能を高めたキュレットです。先端を鋸歯状に加工し、不良肉芽または異物の搔爬の効率を高めています。また、角度やサイズのバリエーションで、あらゆる条件下での処置に対応します。



届出番号: 13B1X00053AB0005

セミナーインフォメーション


 ロマリンダ大学のサーティフィケートコースを国内で!

ロマリンダ大学 インプラントベーシックコース

東京開催!
総合8日間サーティフィケートコース

米国ロマリンダ大学が発行するサーティフィケートが授与されるインプラントコースを東京で開催いたします。世界最先端の情報とテクニックを日本にしながら、週末(土日4回)のスケジュールを利用して学ぶことができます。

講師陣

Jaime Lozada

※9月25日來日講演

ロマリンダ大学歯学部教授兼インプラントのアドバンス教育プログラムにおけるディレクターに就任。
1987年にインプラント、1995年には補綴アドバンスプログラムを修了。
ABOIの認定医を取得し、AAIDの会長も歴任。
インプラントロジー雑誌の編集委員も従事。

昨年に引き続き、ロマリンダ大学インプラント認定コースを日本で開催することができ、大変光栄に思います。我々がロマリンダ大学で行っているインプラント教育プログラムは、アメリカ合衆国で35年以上の歴史を持ち、外科処置だけでなく補綴処置も含めた包括的な治療を十分に学ぶ事が出来る、アメリカ本国でも卓越したプログラムです。

今回のコースの講師陣である、梅津先生、大山先生、多保先生はロマリンダ大学にてその教育プログラムでトレーニングを積み、様々なインプラント治療について十分に研鑽されておりますので、本プログラムを受講される先生方も、ロマリンダ大学のインプラント治療の概念とその方法を修得いただけるものと思います。

このプログラムの最終日には私自身も来日する予定ですので、皆さんにお会いできる事を楽しみにしております。

 ロマリンダ大学 インプラント科 教授
Jaime Lozada

 ●ロマリンダ大学歯学部
Adjunct Assistant Professor (3名共)

梅津 清隆
歯科オーソドンチア日比谷

大山 高太郎
大山歯科医院

多保 学
たば歯科クリニック

 海外大学コラボ企画  × 
■日程:

 2016年 ①6月18日(土)-19日(日) ②7月23日(土)-24日(日)
③8月27日(土)-28日(日) ④9月24日(土)-25日(日)

■会場:

株式会社 インプラテックス
いつも、となりに

本社セミナー室(東京都荒川区)

■受講費: 496,800円

(実習材料費、昼食費、ウエルカムパーティー費、懇親会費、税込)

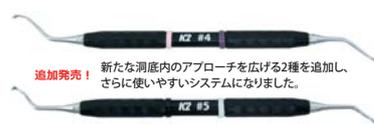

サイナスリフトの最新テクニック講演会
新ツールとテクニックが加わった、ニューケルスタルアプローチ法 (低侵襲上顎洞底挙上術)
3月6日(日) 東京

13:00~16:00

参加費: 10,000円(税込)

内容

三好敬三先生が、日常臨床で実践されているインプラント治療の様々なテクニックと最新ツールを余すことなくご紹介いたします。新しく追加された#4、#5の使用方も講演されます。


追加発売! 新たな洞底内のアプローチを広げる2種を追加し、さらに使いやすいシステムになりました。

講師


三好 敬三

飯田橋レインボービル 2F 中会議室 東京都新宿区市谷船河原町11番地 TEL.03-3260-4791

各セミナーの詳細はお気軽にお問い合わせください。※弊社HP (<http://www.itx.co.jp>) のセミナー案内より、詳細を記載した案内状をダウンロードいただけます。(内容は都合により多少変更されることがあります)

いつも、手の中に

弊社WEBサイトをさらに使いやすくしました!
①スマートフォンやタブレットPCによる閲覧に対応したレスポンス表示

※スマートフォンやタブレットで閲覧した場合、自動的に表示が最適化される方式

②インプラント関連器具商品の価格表示


株式会社 インプラテックス

お問い合わせは


株式会社 インプラテックス

いつも、となりに

 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-33-19 YDM日暮里ビル
TEL.03-5850-8555 FAX.03-5850-8505 www.itx.co.jp

- 歯科器具
- インプラント材料
- セミナー

インプラテックス

🔍 検索



NEW “K2バーティカルサイナスアプローチ”

～ニュークレスタルアプローチでの低侵襲なサイナスリフトを実現させるインストゥルメントに新たに2種類が加わりより実用的に～

東京都 インプラントセンター21 三好デンタルクリニック 三好敬三

はじめに

サイナスリフトをより確実により低侵襲に、垂直的幅径増大の方法として普及したソケットリフト法は、開窓法に比較し外科的侵襲を押しさえるというメリットがあるが、反面マレットによる槌打は患者頭部に衝撃を与えるとともに、垂直的挙上高径の限界もある。より確実に、より低侵襲で簡便なサイナスリフトテクニックとして、K2を使用したニュークレスタルアプローチテクニックが考案されて早5年。ニュークレスタルアプローチテクニックとは従来のラテラルからのアプローチを歯槽頂からアプローチするという低侵襲なサイナスリフトテクニックである。3本のインストゥルメントであったものに、今回新たに2本が加わりさらに実用的、簡易的にクレスタルからのサイナスリフトアプローチが可能になった。

本インストゥルメントを臨床応用したクレスタルからのサイナスリフトを行った症例をレポートしたいと思う。



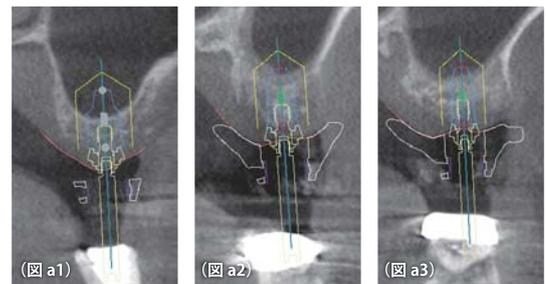
従来のK2では対応できる骨の垂直的距離は1mm～2mm、最大で3mmまでだったが、骨が**5mm以上**ある症例においても上顎洞粘膜の挙上が可能になった。

ケースレポート

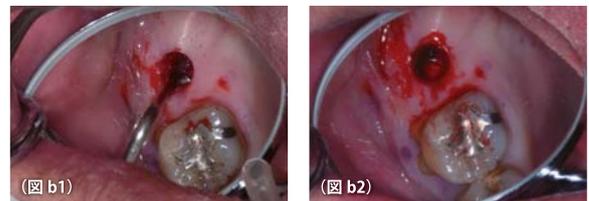
患者は62歳男性で上手く噛む事ができず、特に25, 26は痛みが出ている事を主訴に来院された。

CTデータによる診査・診断ではサイナスリフトが必要であり、また本症例においては最低限の侵襲でインプラント埋入を実現させるため、フラップレスにて治療計画を立てた。

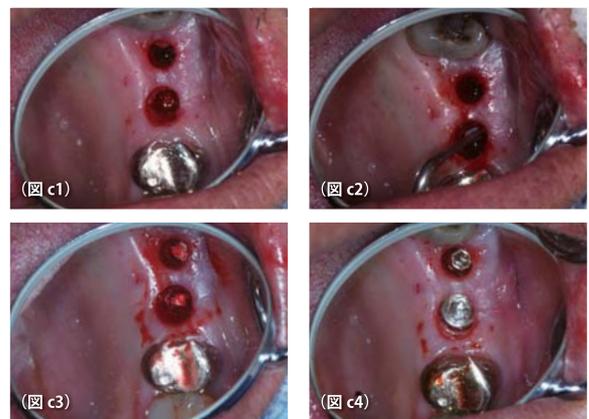
治療計画において5mmの粘膜挙上が必要であると診断。本インストゥルメントを使用し、Guided Surgeryにてフラップレスによるインプラント埋入を計画した。使用したインプラントは17に対してはWP6×8.5mm (図a1)、25に対してはWP5×8.5mm (図a2)、26に対してはRP4×8.5mm (図a3)を使用した。



17において、φ3.6mmまで形成したのち、K2の#1から#5を使用し、上顎洞粘膜の挙上を行った。(図b1)
骨補填材にて粘膜保護を行う。(図b2)



25, 26において、φ4.2mmまで形成(図c1)。K2の#1で周囲の上顎洞粘膜を剥離してから#2から#5を用いてさらに慎重に上部へ骨面に沿って上顎洞底粘膜を剥離していく(図c2)。上顎洞底粘膜に穿孔が無いことを確認してシュナイダーメンブレンにコラーゲンを添入しメンブレンを保護(図c3)。インプラントを埋入し手術終了となる(図c4)。MIコンセプトに則ったニュークレスタルアプローチでのサイナスリフトが可能となった。



事前のコンピューターシミュレーション上で計画していた垂直的挙上は達成され、ベストなポジションでの初期固定を得ることができた。

インプラントの形成窩から上顎洞底挙上を行いインプラントを埋入するという低侵襲の上顎洞底挙上術が可能となった。さらには、症例によってはフラップレスでも可能であるので患者のメリットは大きいと思われる。しかしながら、従来のラテラルウィンドウテクニックに比べ、難易度の高いテクニックであるため、術者にはしっかりとした術前のCTによる診断と綿密な治療計画を持って活用してもらいたい。

